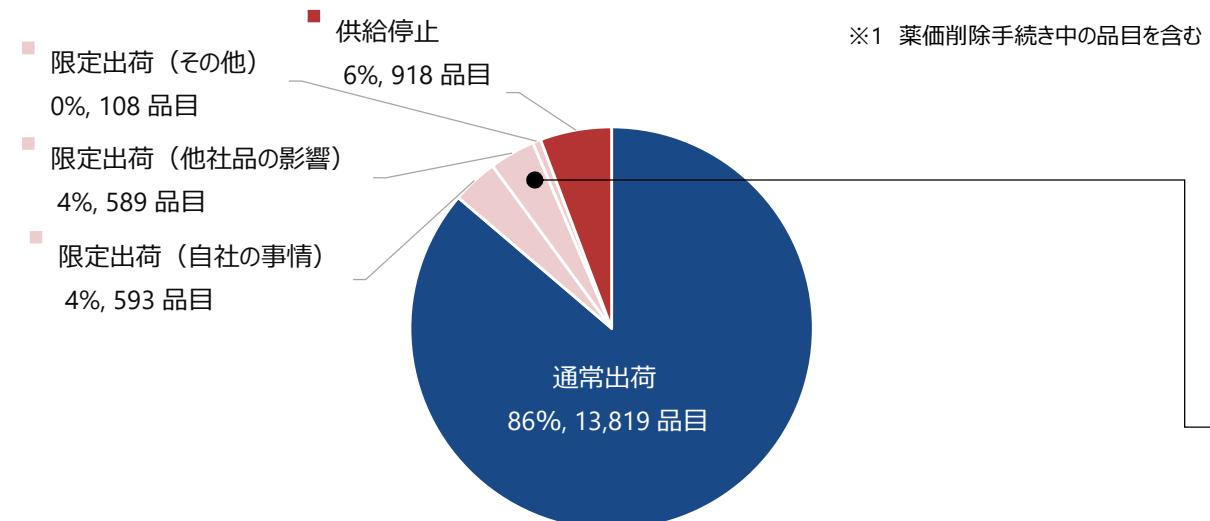


1 製造販売業者の対応状況—医薬品全体（令和7年10月）

○ 製造販売業者の対応状況については、限定出荷・供給停止が合計14%（2,208品目）であり、限定出荷の要因としては「自社の事情」によるものが最多であった。

1 医薬品全体の対応状況 ※1



カテゴリー別：「供給停止」、「限定出荷」の割合

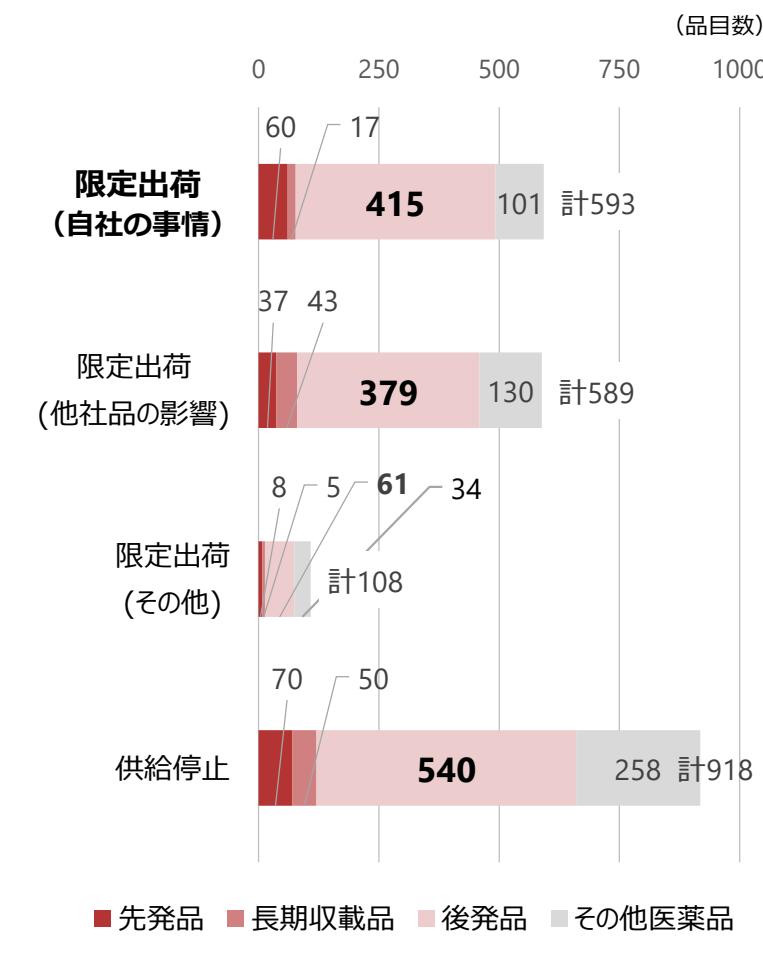
2025年10月 調査結果	供給停止		限定出荷	
	銘柄数	構成比	銘柄数	構成比
先発品	70	8%	105	8%
長期収載品	50	5%	65	5%
後発品	540	59%	855	66%
その他医薬品	258	28%	265	21%
合計	918	100%	1,290	100%

項目の定義

※長期収載品：後発品のある先発品

※その他の医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など

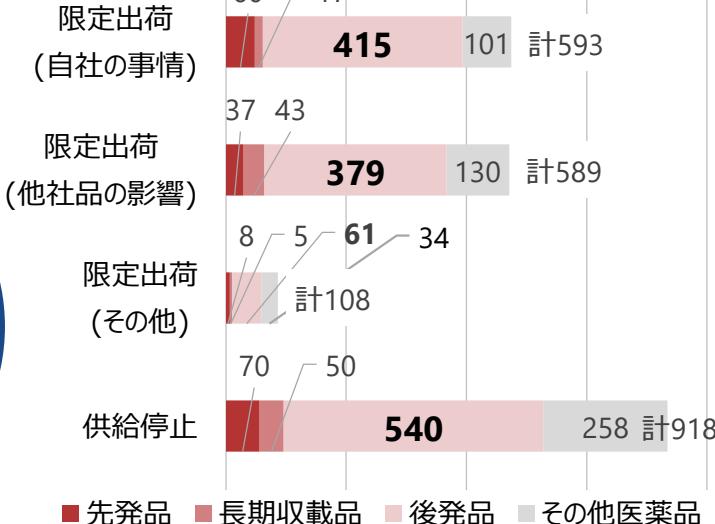
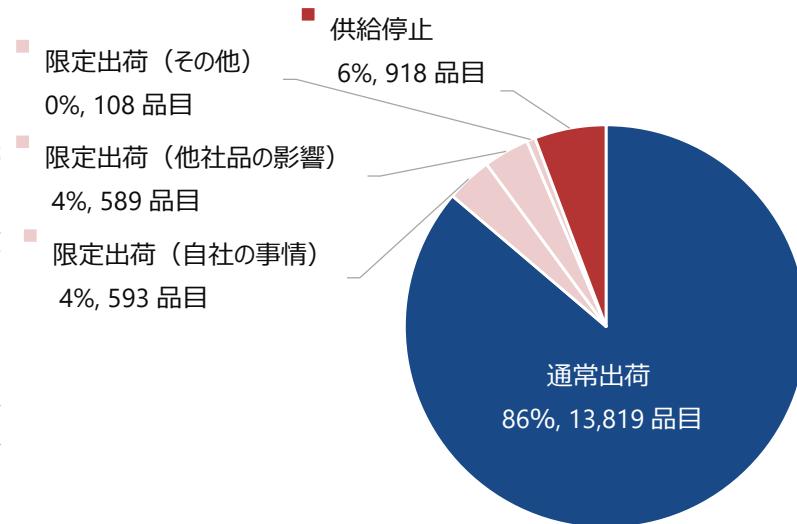
2 限定出荷・供給停止の内訳



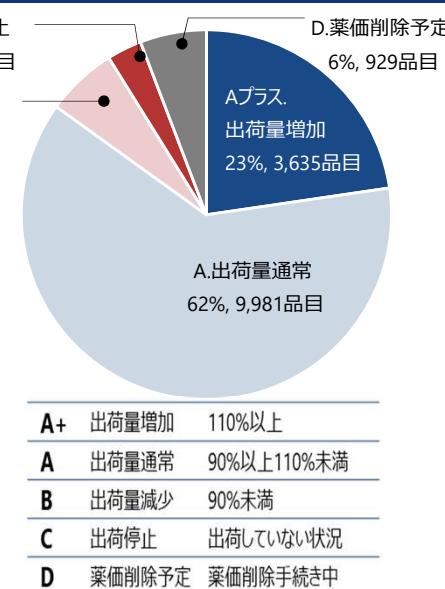
注：本集計については、令和6年度以前は「医薬品供給状況にかかる調査」（日本製薬団体連合会）、令和7年度以降は「医療用医薬品供給状況報告」（厚生労働省医薬産業振興・医療情報企画課）に基づく。以下同じ。

1 - 2 製造販売業者の対応状況—医薬品全体（令和7年10月） (薬価削除予定品目有無別)

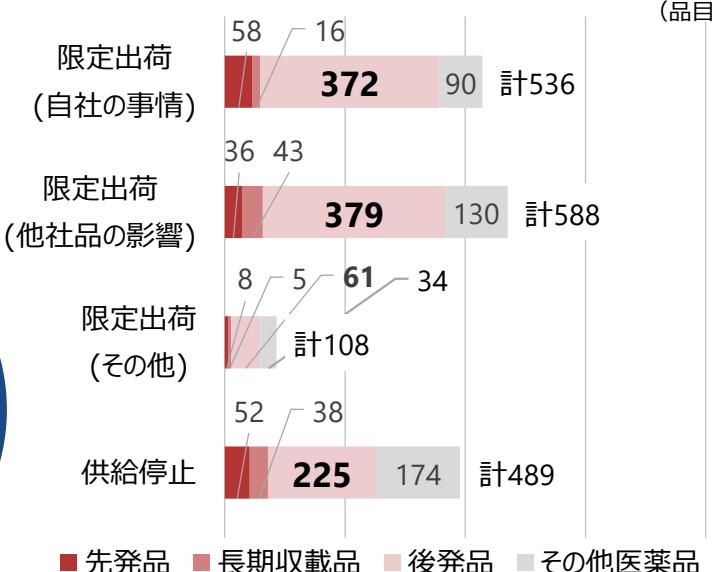
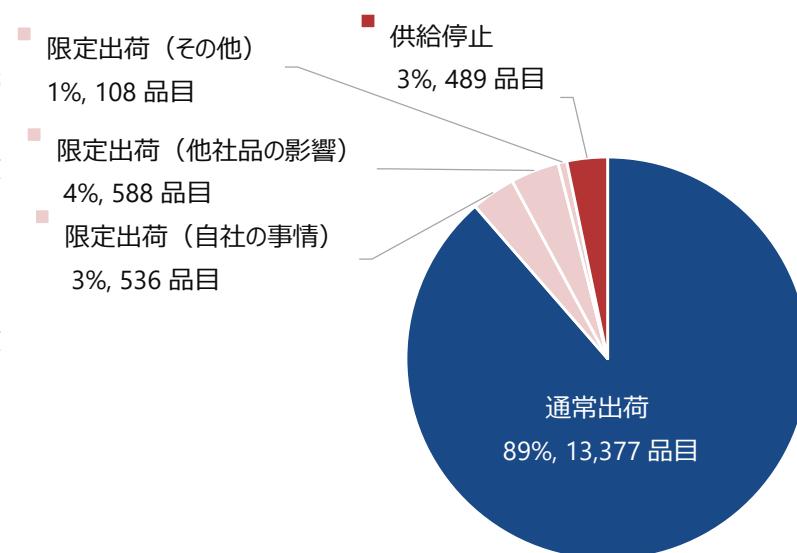
医薬品全体の対応状況



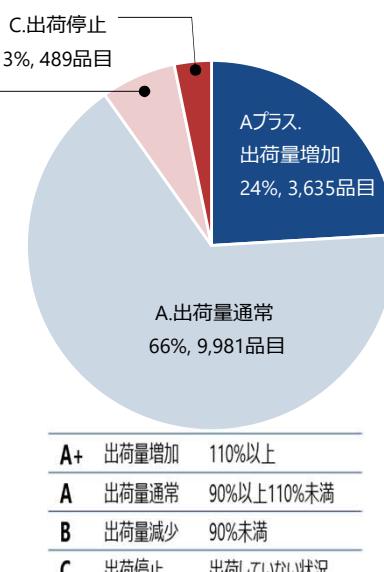
医薬品全体の出荷量の状況



医薬品全体の対応状況

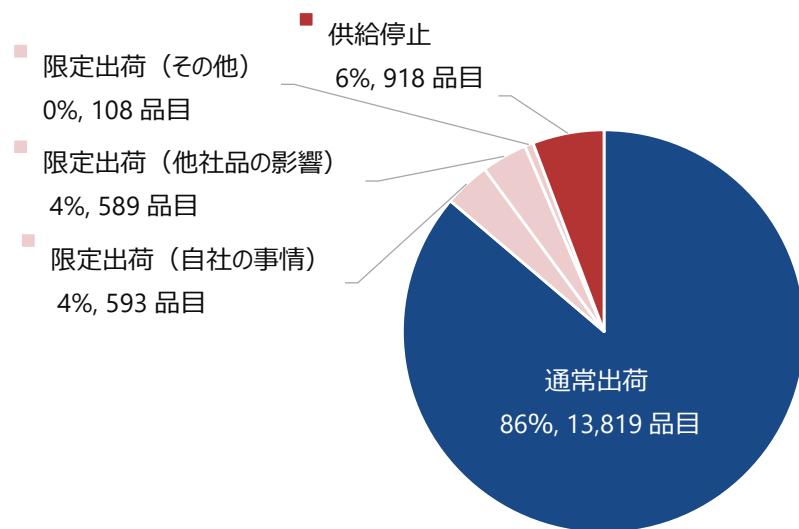


医薬品全体の出荷量の状況

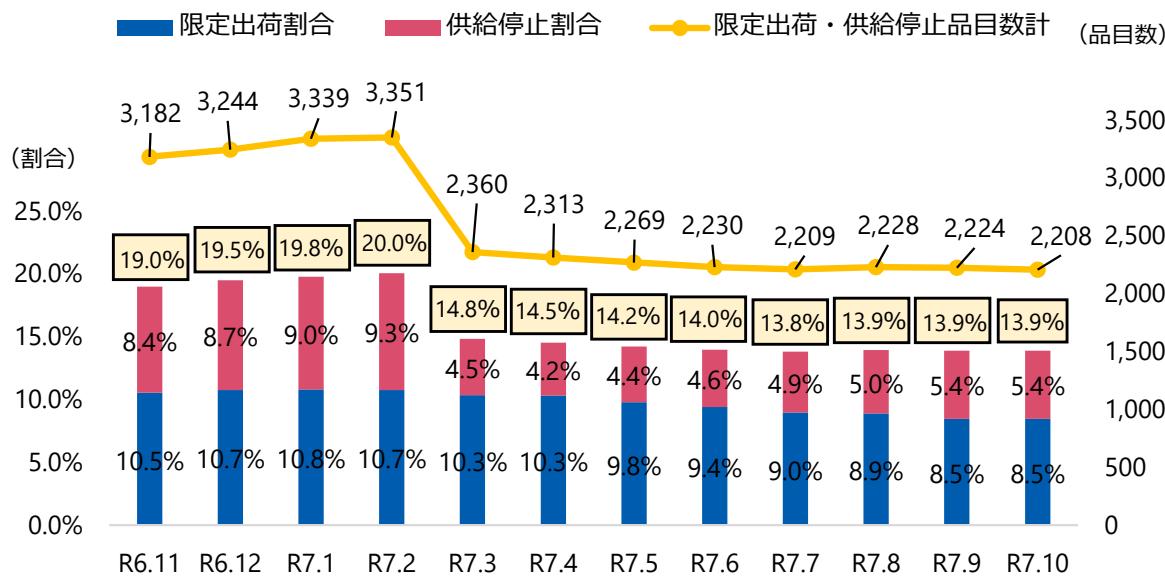


1 - 3 ① 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の状況の推移 (令和6年～7年度) (供給(限定出荷・供給停止)の状況)

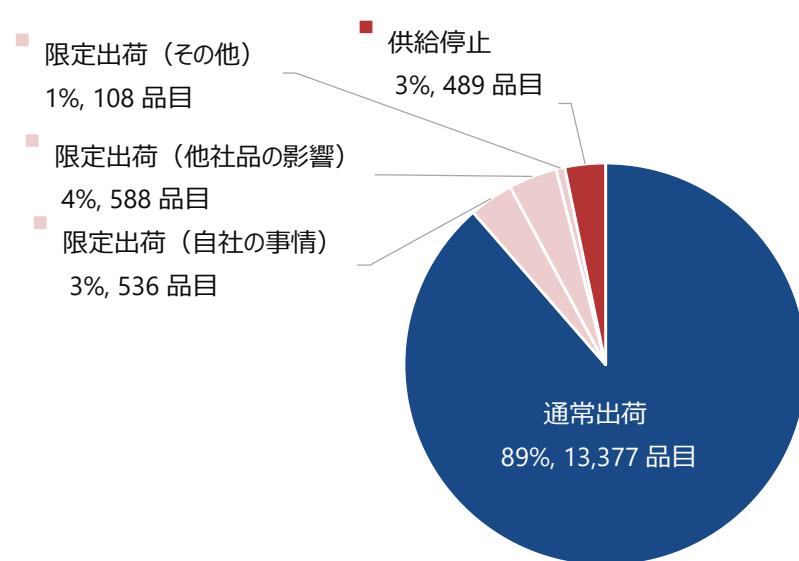
医薬品全体の対応状況 (令和7年10月)



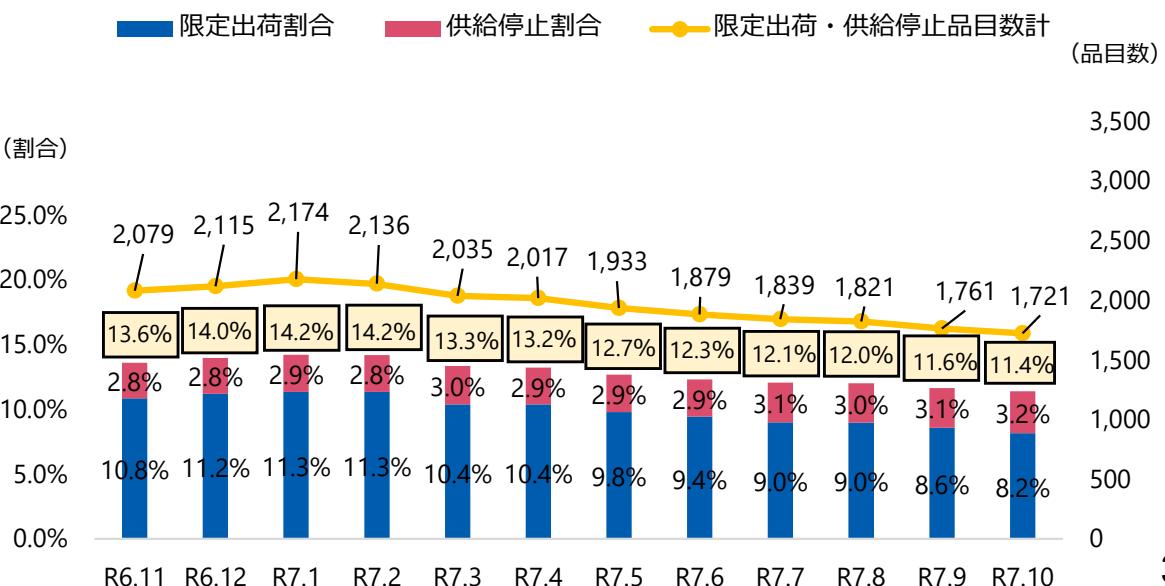
医療用医薬品の限定出荷・供給停止の推移



医薬品全体の対応状況 (令和7年10月)

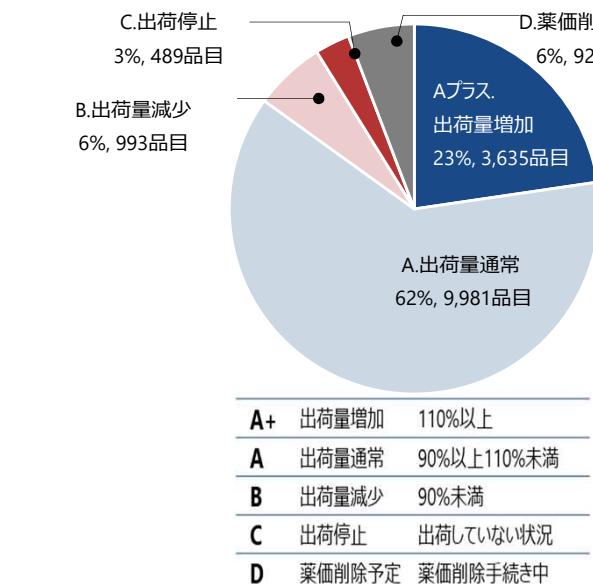


医療用医薬品の限定出荷・供給停止の推移

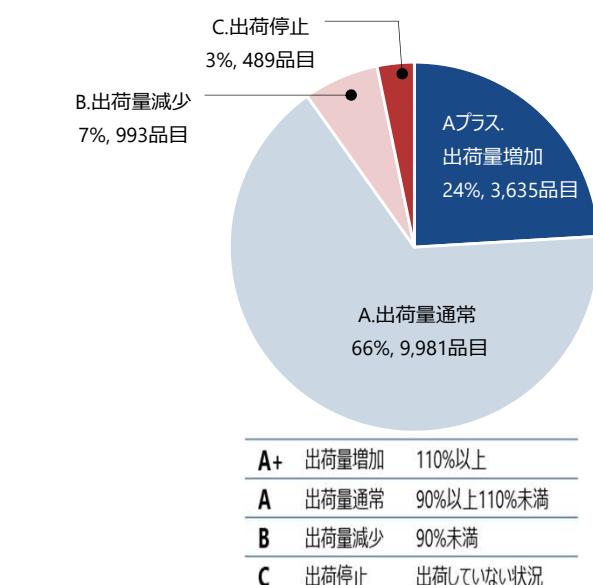


1 - 3 ② 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の状況の推移 (令和6年～7年度) (出荷量(減少・停止・薬価削除予定)の状況)

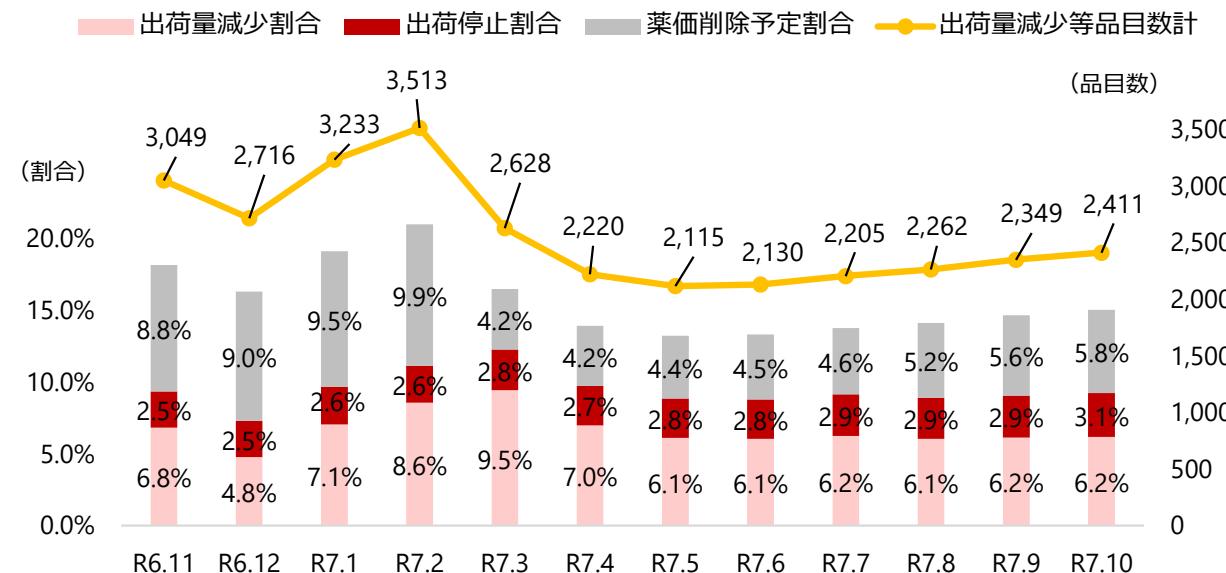
医薬品全体の出荷量の状況 (令和7年10月)



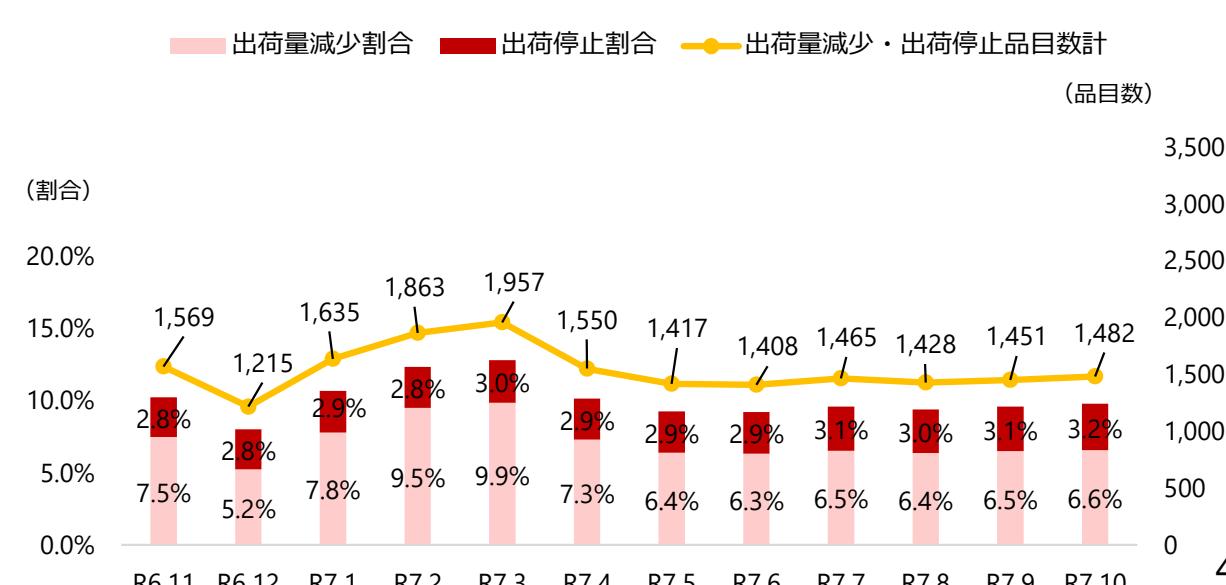
医薬品全体の出荷量の状況 (令和7年10月)



医療用医薬品の出荷量の推移



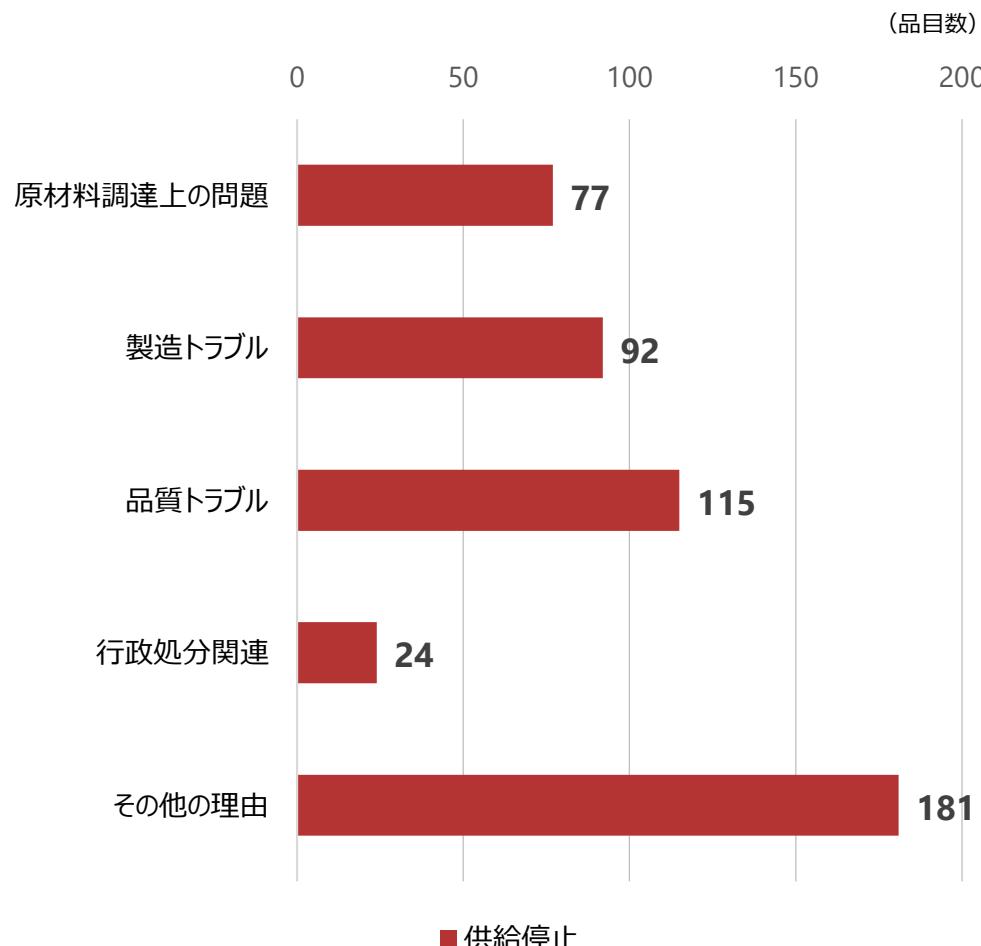
医療用医薬品の出荷量の推移



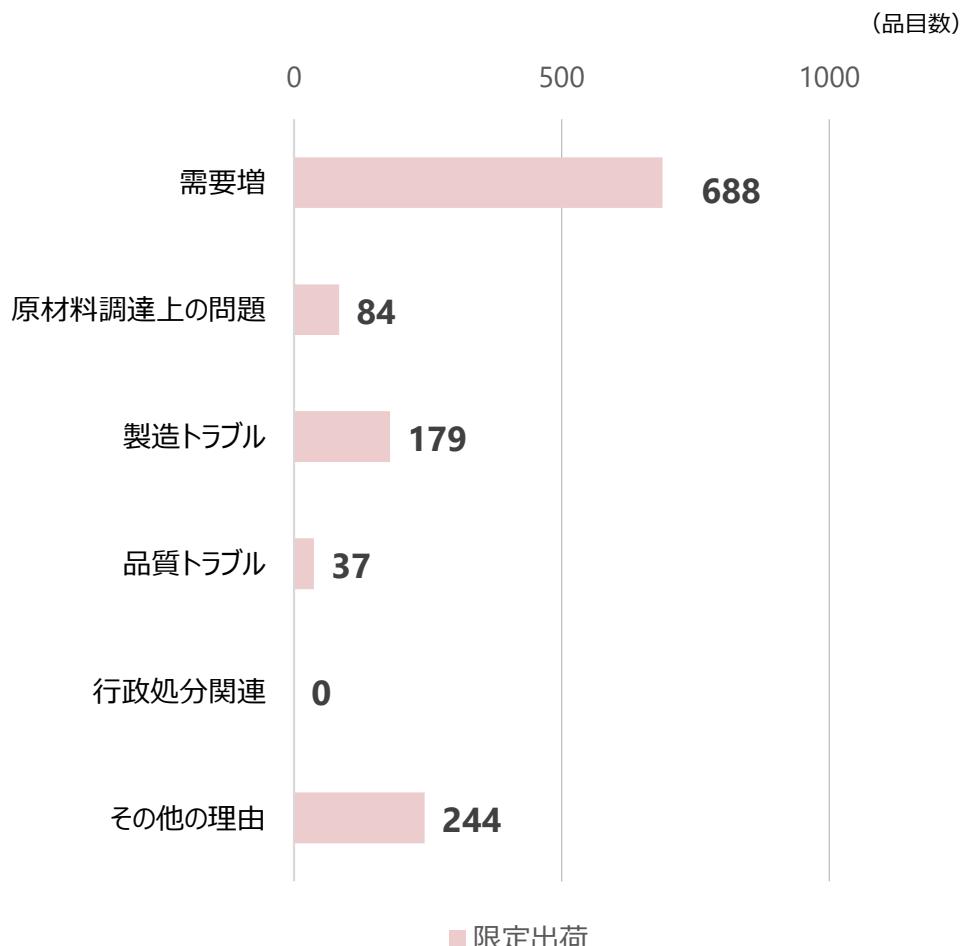
1 - 4 供給停止・限定出荷の理由（令和7年10月）

- 供給停止918品目、限定出荷1,290品目について、供給停止・限定出荷の理由の回答を得た。供給停止の理由は「その他の理由」が最も多く、限定出荷の理由は「需要増」が最多であった。

1 供給停止の理由 ※1



2 限定出荷の理由 ※2



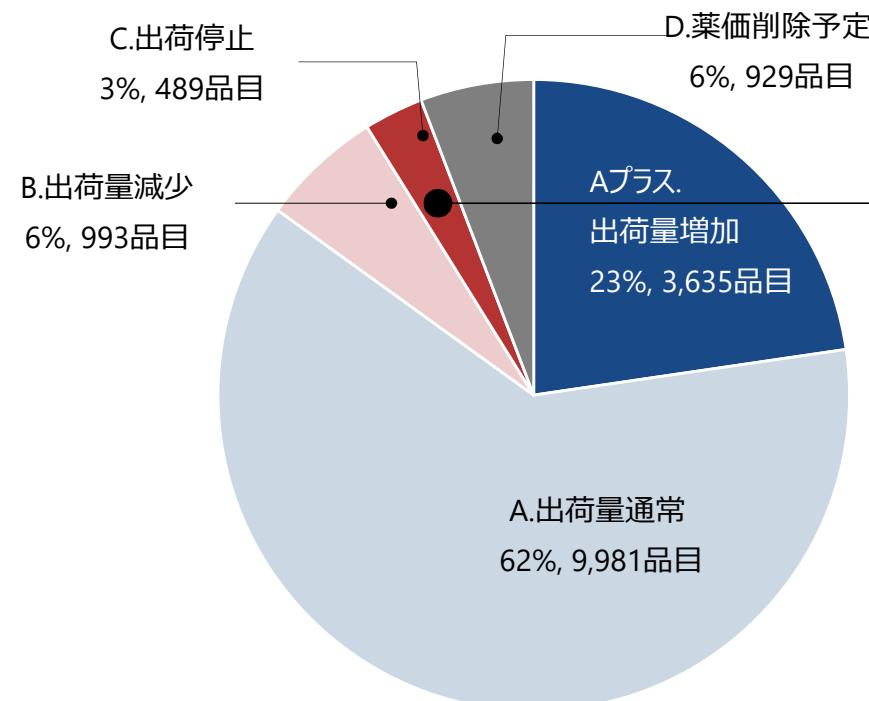
※1 薬価削除が理由である429品目は除く。

※2 薬価削除が理由である58品目は除く。

2 製造販売業者の出荷量の状況—医薬品全体（令和7年10月）

○ 製造販売業者の出荷量の状況については、出荷量通常は合計85%、出荷量通常以外の出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定が合計15%であり、出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定の内訳としては、いずれも「後発品」が最多であった。

1 医薬品全体の出荷量の状況



A+	出荷量増加	110%以上
A	出荷量通常	90%以上110%未満
B	出荷量減少	90%未満
C	出荷停止	出荷していない状況
D	薬価削除予定	薬価削除手続き中

2 出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定の内訳

